

事業概要報告書

事業名	五島列島形成史復元プロジェクト 1
事業実施者	九州大学 地球惑星科学部門 清川昌一 学生 池端雄太
事業期間	2020 年 7 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日
事業結果の概要	五島層群および五島火山岩類の地質層序復元・地質構造解析および U-Pb 法によるジルコン年代測定を行った。当初より福江流紋岩類と五島層群中の緑色火山岩類の区別がつかず，露頭調査では，大宝から大瀬崎についての船上調査を行った。ここでは，今のところカヤバ浦の南限に大きな正断層があり，福江流紋岩類はその凹みに分布すると考えるにいたった。中須川にみられる溶結凝灰岩類も，当時の地形的な凹みにたまった火砕流堆積物であると思われる。 年代測定は，3 つ行なっており，①北部の観音平 (KN610-01)，②大宝崎の流紋岩層 (DH408-06) では，16.5Ma 程度の値を取得できた。カヤバ浦の緑色火山性堆積岩の年代測定（本事業とは別に実施）では古い粒子が 2 粒入っており，20Ma ぐらいを示した。このなかには 16.5Ma の年代は含まれておらず区分ができたと思われる。③戸楽層の緑色火山性堆積物 (TR618-02) に関しては，1 億年前の変成岩に巻き込まれたジルコンがほとんどであった。この中にも 16.5Ma は含まれていないため五島層群であるした。
事業の考察	福江流紋岩類の年代を決定することができた。今後の課題としては，砂岩・泥岩層からなるいわゆる五島層群の堆積年代をきめる必要がある。また，以前福江流紋岩類の層序的な五島層群との関係が明らかでなく，大宝地域の海岸線の詳細な調査が必要になる。
備考	

(注) 事業の実施が分かる写真を添付してください。

(注) 調査・研究事業については、詳細が分かる資料を別途提出してください。

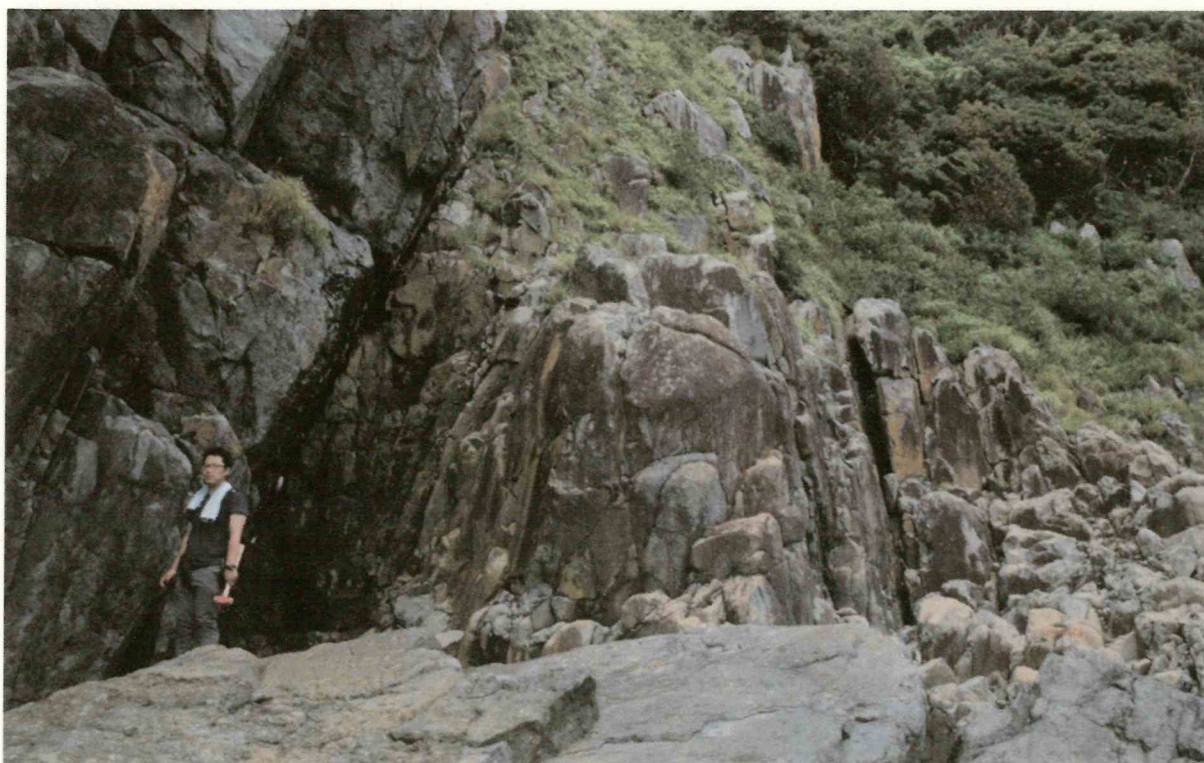
添付書類
(調査風景)



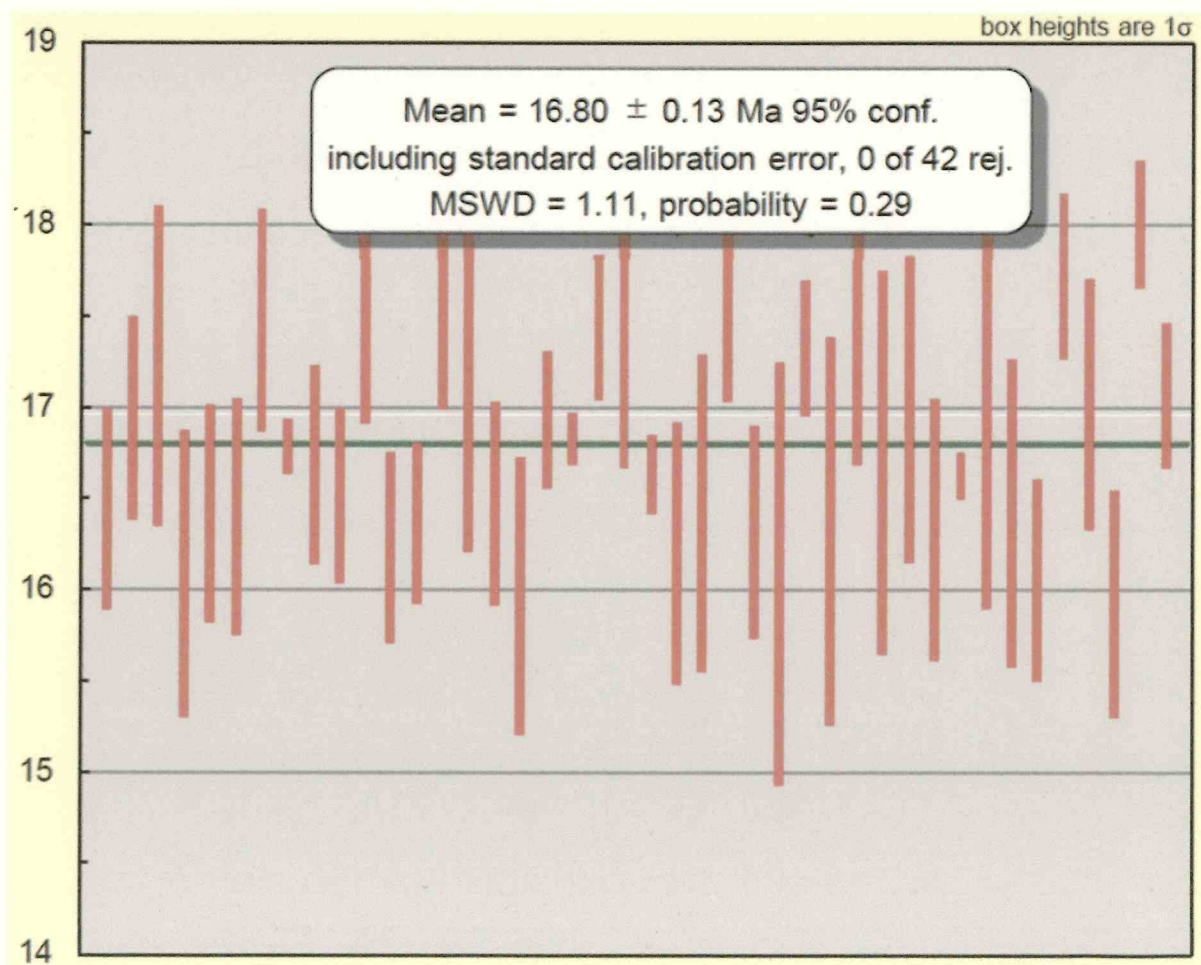
奈留島 北部カジノハ鼻（高角度層）



大宝 力尾崎の火山性碎屑物（これは福江流紋岩類とする.）



カヤバ浦の五島層群最下部層の調査風景



大宝崎の福江流紋岩類 1680 万年前 (試料 DH-408) シュリンプによる年代測定結果